

Amamo2023 宣言

2023年11月17-19日、アマモ場を含む、ブルーカーボン生態系の保全・再生のために活動する多様な関係者が、国内・国外から東京に集まり情報交換を行いました。その中で、ブルーカーボン生態系の保全・再生のための指針や方針、具体の活動の情報交換がなされるとともに、今後の社会変革に向けた取り組み方が議論されました。

その結果として、我々の地球環境・海洋環境は地球温暖化による気候変動と、自然生態系の劣化の影響による生物多様性の損失の危機に面しており、今、行動を起こすことが必要です。我々は、以下のような行動の指針に基づき、自分たちのできる最善を尽くして行動していくことを宣言します。

対処方針) 気候変動と生物多様性の損失のどちらにもバランスよく対処することが必要です。そのためには、1) 科学的調査・知識をベースに、多面的な取り組みを行うことにより、ブルーカーボン生態系をブルー自然資産 (Blue Natural Capital) と捉え、2) 自然に配慮した対応 (Nature Based Solution) やブルーカーボン・クレジットやマーケットを用いて行動を進め、3) ブルー・エコノミーの進展につながるような取り組みを進めるべきです。

配慮事項) その取り組みは、多様な関係者との連携で進めることが必要です。その際に、1) SDGs やパリ協定、昆明-モントリオール宣言、ラムサール条約に示される湿地保全や賢明な利用のような国際的 (Global) な目標や行動規範と地域 (Local) の価値創出の整合性を意識し、2) すべてのステークホルダーの協力と尊重、3) 伝統的な知恵や地域の文化への尊敬をもって、4) コミュニティの利益を優先し、5) 透明で説明責任の果たせるプロセスを持ち、6) 短期的な損得ではなく、世代を超えた将来への投資という長期的な視点を持つ必要があります。

必要な要素) そうした取り組みを進める際に必要な要素があります。それは、1) 科学的根拠に基づく啓発・教育を行うこと、2) 楽しく、新しい取り組みに挑戦すること、3) 透明性高く、情報を開示すること、4) 各種データを広く深く収集・分析・評価することを含め徹底的な調査研究を継続・深化すること、5) 最新の技術を駆使すること (例えば、環境 DNA 分析など)、6) 関係者と協働で計画・管理 (co-design, co-manage) を進め協創 (co-produce) を目指すこと、7) 経済的な資源を担保するために、自然資本クレジットなどを通して、企業などの民間セクターの関与を加速させること、8) 国際的な連携をもって取り組むことで、より良い成果につなげることができると信じています。

我々は、今回の Amamo2023 を通して、アマモ場を含む、ブルーカーボン生態系の保全・再生について、課題解明と合意形成の重要性を認識しました。具体的には、漁業者の覚

悟、継続の力、持続的な市民の協働、行政によるガバナンス、企業のコミットメント、小学生の熱意、高校生の探求心、真実を見る目、若者への広がり、難しいけれど大切なことを伝えたいという想い、科学コミュニケーションなどの重要性を再認識しました。

今、我々自身が将来に向けて、上記に示した方針・配慮事項・必要な要素を共通のビジョンとして行動を起こすことが必要です。我々自身が活動するだけでなく、幅広い関係者への啓発・働きかけを通して、有効な社会環境ネットワークを構築し、環境の動的なシステムの理解を進め、環境の評価を行いながら順応的に社会変革のための行動を起こします。

Amamo2023 参加者一同